

【財団 HP 掲載用の研究概要】

研究課題名

QFT の仕様変更に伴って添付文書に追加された検査手順による検査結果への影響に関する検証

現在、結核診断のための補助検査として広く普及しているクオンティフェロン TB ゴールド (QFT) の仕様が平成 28 年 9 月に一部変更になり、これまでの添付文書において血液検体の保存温度・検査 (培養) 開始までの時間が専用採血管 (3 本使用) で採血後、17~27℃で 16 時間と規定されていたものが、新しい添付文書ではヘパリンリチウム採血管 (1 本) で採血後、2~8℃で 32 時間とする仕様が追加となった。

このように、従来の仕様に今回新たに血液検体の採取方法、検体の保存温度や検査 (培養) 開始までの時間が大きく異なる仕様が変わったことから、従来の仕様と新しい仕様に基づいた検査手順による検査結果への影響の差異を検証することを目的として本調査研究を実施する。

この検証により、新たに加わった仕様の検査結果への影響について、臨床サイド等への適切な情報提供につなげることができるとともに、QFT の利便性の向上によりさらなる利用の促進を図り適切な治療や予防投薬につなげることが期待できるものとする。

研究責任者

検査部一般検査課 細菌検査室 岡田